




食べもの   が
燃料  になると、
ほんとに環境  に
いいのかな。

「環境にやさしい」をちょっと疑ってみる。
和光大学ではそんな授業も開いています。

近年よく耳にするバイオ燃料。それは私たちの食べものでもあるトウモロコシ、サトウキビ、大豆などを原料とする燃料です。ガソリンや軽油の代わりに石油を節約できるため、CO2排出量の削減効果が期待されています。ただし、それが温暖化対策として有効かどうかは疑問の声もあり、またその増産による農地の必要以上の拡大や、穀物の不足や高騰を招く懸念もあります。このような環境をめぐる課題を学ぶために、和光大学では「環境と食糧」「環境経済学」などの授業を開いています。ここで大切にしているのは「環境にやさしい」と言われることでも、ちょっと疑ってから自分の頭で考えてみること。それが広い視野で世の中を見る力を養う。そう考える、和光大学です。

和光
3分
大学



小田急線鶴川駅から徒歩約15分
<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる
和光大学
現代人間学部 表現学部 経済経営学部